

6つの柱を軸に具体的なSDGs活動に取り組んでいます



名古屋市子ども青少年局の子ども食堂に寄付



本社所在地のある地域の小学校に和太鼓を贈呈



本社所在地のある地域の小学校に歴史関連書籍を寄贈



名古屋市緑区の小学校へミシン寄贈



地区の子ども食堂へ10万円寄付 (さばんなカフェ)

5. 寄贈活動

株式会社ケイテック SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、SDGsの達成に向けた取組みを行っていき事を宣言します。

2021年7月16日

株式会社ケイテック 代表取締役 金子 一夫

SDGsの達成に向けた取組み

モノづくりの発展に貢献

機械設計事務所として長年培ってきた当社独自のノウハウから「心」ある技術を創り出します。次世代製品に対して最先端の技術を提供し、物心共に豊かな社会の実現を目指し行動します。



【具体的な取組み】
●運転支援や自動運転のための各種カメラ、各種センサの搭載設計に当社ノウハウを提供し、脱炭素・地球温暖化対策に貢献
●安全で故障のない電動化等次世代車作り及び半導体高集積化の搭載設計の充実
●車の先進技術を支えるECU制御のためのシステム開発を促進し、環境に優しい社会の実現に貢献

働きやすさ・人材育成

経験の有無や性別にかかわらず、多様な人材が生き生きと働くことが出来る職場づくりを目指して参ります。また従業員が更なる技術向上を図る事が出来る環境・制度整備を進め、各々がより高い技術レベルを目指す企業風土を醸成して参ります。



【具体的な取組み】
●各職場でのジョブローテーション制度を導入、マルチスキル獲得による技術向上を支援
●技術研修と能力研修を中心とした研修体制の充実
●専門資格の取得を促進し、技術力の高いチーム作りを行う事で、働きやすさを持つ成長出来る環境を整備
●風通しの良い職場づくりを目指すとともに、従業員の心身を守るための窓口としてヘルスケアルームの利用を促進し、健康経営を推進
●産休、育休、時短勤務制度の充実

社会貢献

モノづくりへの関心を高める活動を通じて地域コミュニティとの交流や雇用を創出し、社会貢献活動に積極的に取組み、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。



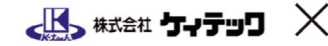
【具体的な取組み】
●海浜地区教育機関等への寄贈・観光振興活動
●CADスクールを通じて社会貢献への就業支援
●東日本大震災復興支援のため、日本赤十字社への義援金拠出

環境対策

当社オフィスでのグリーン電力の利用促進に積極的に取組み、地球温暖化対策など環境負荷軽減に貢献して参ります。



【具体的な取組み】
●当社全館 LED 照明の導入、節電及びペーパーレス化を推進
●省エネ空調設備の導入及び省エネ診断の実施
●環境性能の高い車両購入時に奨励金を支給



名古屋市緑区にCO2濃度測定器15台寄贈



地区観光振興団体へ20万円寄付 (高札場修復費用として)



名古屋市緑区の中学校へプラスバンド用太鼓寄贈



地区の子ども食堂へ10万円を寄付 (ライフケアキッズ有松)



地区の子ども食堂へ5万円寄付 (子ども食堂スーズ)

6. 「かずお基金」の活用

2022年1月より「かずお基金」を創設しました。この基金は社員一人ひとりの人間としての幅を一層広げ、自己啓発を目指すために必要な費用の一部を拠出し、応援するものです。支援項目は資格試験取得のための受験参考書購入、英会話教室、ジム or フィットネスクラブ入会、海外旅行、同好会活動費、資格試験合格祝い金、永年勤続慰労金、社員子弟に対する奨学金などです。

特に社員子弟に対する奨学金(高校進学10万円、短大進学25万円、大学進学50万円)は社員には好評です。

「かずお(サステナブル)基金」の創設

1. 本基金は2022年1月1日、株式会社ケイテックが創設した。2. 本基金の目的は、社員一人ひとりの人間としての幅を一層広げ、自己啓発を目指すために必要な費用の一部を拠出し、応援することである。3. 本基金の運用は、株式会社ケイテックが実施する。4. 本基金の拠出額は、毎月10万円である。5. 本基金の拠出先は、株式会社ケイテックが指定する。6. 本基金の運用方針は、株式会社ケイテックが定める。7. 本基金の運用報告は、株式会社ケイテックが実施する。8. 本基金の運用に関するお問い合わせは、株式会社ケイテックの総務課までお願いいたします。

基金種別	金額	用途
奨学金	50,000円	高校進学、短大進学、大学進学
資格試験合格祝い金	10,000円	資格試験合格祝い金
海外旅行	20,000円	海外旅行
同好会活動費	10,000円	同好会活動費
ジム or フィットネスクラブ入会	10,000円	ジム or フィットネスクラブ入会
受験参考書購入	10,000円	受験参考書購入
英会話教室	10,000円	英会話教室
永年勤続慰労金	10,000円	永年勤続慰労金
社員子弟に対する奨学金	10,000円	社員子弟に対する奨学金
その他	10,000円	その他

株式会社 ケイテック

〒458-0801 名古屋市緑区鳴海町字本町53番地の7
TEL (052)622-3221 FAX (052)622-0074
URL: www.k-tech.ne.jp E-mail: info@k-tech.ne.jp

お気軽にお問い合わせください
0120-565-045

作成 2023.12.26

次の世代を担う子どもたちのために
「頼り、頼られながら」明るい未来を作り出す

SDGs活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



株式会社 ケイテック



加盟団体 (一社)日本機械設計工業会会員
名古屋SDGs推進プラットフォーム
愛知県SDGs愛知県登録制度

ケイテック SDGs活動の本命ゴールは「環境性能の良い車づくりに貢献」すること

SDGs活動は自分事として考えなければならない時代に

モノづくりで人々の生活を豊かにしてきたケイテックの技術。その一方で、地球環境にとっては産業の発展に反比例して自然環境破壊と温暖化による災害の多発が顕著となった。地球環境破壊は待つてはくれません。この事実を地球で生きる全人類が自分事としてとらえ、SDGs活動を推進していく必要があります。知識を深め、この活動に取り組むことが社会全体の未来にとって有益であることを認識しました。経済的活動は効率よく生産性を上げ、その結果、売上という対価を得て、会社は存続する。一方、社会的活動は互助の精神により、思いやりのある豊かで平和な社会を創り出し、会社は経済活動を行うことが出来る。「経済」→「社会」→「環境」…のサイクルにSDGsの考え方をプラスして、モノづくりで社会を支えてきたケイテックをはじめ、サプライチェーン全体が協力してSDGs活動を推進していくことが私たちの願いです。



目指すゴール	取組内容とゴールの関係	SDGs実施項目	説明
モノづくりの発展に貢献 経済	<p>機械設計事務所として、長年培ってきた当社独自のノウハウから“心”ある技術を創り出し、次世代製品(自動車)に対して最先端の技術を提供する。</p>	SDGs社内委員会の委員募集	SDGs活動の重要性を共有し、社内委員会の委員を募集した(2021/1/15)
		ケイテックSDGs宣言書の確定	協議を重ね、幹部会議において最終宣言書の文言を確定した(2021/7/16)
		宣言書による社員参加によるSDGs活動	宣言書中「主に社員が取り組むべき項目」をアンケート形式で選び、取り組みを開始した(2021/7/16)
		社員の技術レベルアップの取り組み	資格試験受験を推奨し、年間を通じて社内通信制度により技術レベル向上を図る
		「かずお道場」の受講	上級技術取得のため、参考図をベースに自らアイデアを出し、CADによる応用設計を行う社内研修制度を実施
		外部技術展示会等に積極参加	「モーターショー」や「モノづくり」関連の展示会に参加し、直近の最新技術に触れる機会を多くしている
		「かずお基金」の活用	自己啓発関連の費用の一部を補助している 補助項目は英会話教室、ジム・フィットネスクラブ、海外旅行、同好会活動費、社員子弟への奨学金支給など10項目である
働きやすさ・人材育成 経済	<p>経験の有無や性別にかかわらず、多様な人材が生き生きと働くことが出来る職場作りを目指し、技術向上を図ることが出来る環境・制度を整備する。</p>	健康意識調査の実施	健康経営への取り組みに先立ち、社員の健康状態の把握のため健康意識調査を行った(2022/2/13)
		健康経営の実施	社員が健康であるこそ、経営の持続が可能であるとの考え方により、「みんな元気2023活動」を実施(4P 中段参照)
		健康診断の検査項目追加	2月に行う外部医療機関による健康診断に胃がん・肺がん・大腸がん検査を追加(2022/2/19)
		体力測定競技会実施	体育館施設を借りて専門家による全員の体力測定実施
		CADスクールの低額授業化	CAD習得を希望する一般の方のために、より低額授業料化を設定
社会貢献 社会	<p>社会貢献活動やCADスクールを通じてモノづくりへの関心を高める活動を通じて地域コミュニティとの交流や地域愛を創出。持続可能で住みやすい街づくりに貢献していく。</p>	地区観光振興団体との交流	地区観光振興団体(鳴海歴史倶楽部)へ加入し、勉強会に参加し情報交換すると共に復元高札場修復のための資金寄付(20万円)
		地区観光振興団体との交流	地区観光振興団体(緑区ルネッサンスフォーラム)へ加入し、月例会に参加。諸イベントに参加。
		地元小学校への教材寄贈	学習教材として市立鳴海小学校へ大型タイマー・電子ホイッスル(2022)、および平子小学校、熊の前小学校、大高中学校へ教材寄贈(2023)
		地元区役所へ業務機材を寄贈	緑区役所へCO2濃度測定器15台を寄贈[ケーブルテレビで寄贈風景を放映](2021/9/21)
		子ども貧困対策への支援	子ども貧困対策の一環として名古屋市子ども青少年局へ50万円を寄付(2021/10/5)
		子ども食堂への支援	地区の子ども食堂(さばんなカフェ・他8か所)へそれぞれ10万円を寄付(2023)
環境対策 環境	<p>当社オフィスでのグリーン電力の利用促進に積極的に取り組み、地球温暖化対策など環境負荷軽減に貢献していく。</p>	省エネ診断を実施	社内省エネ活動の推進のため、省エネ診断を行い、省エネ対策を実施
		グリーン電力に切り替え	再生可能エネルギー発電によるグリーン電力を中部電力と契約(電灯用、動力用共)
		LED照明への切り替え	蛍光灯照明であったものを全館LED照明への切り替え
		エアコンの使用電力の低減	エアコンの省エネタイプに切り替えかつ室内機の効率を上げるための吹き出し口フィルター(CONTINEVMM)を取付
		遮熱ガラス施工	夏場の室内温度の上昇を防ぐため、窓ガラスに遮熱コーティング実施
		社用車の燃費向上	社用車にセラミックオイル(GLAT)を注入し、燃費向上を図る
		環境性能の良い車両購入時の補助	環境性能の良い車両を購入した社員に対し1台2万円を補助
		アウトレット収集活動	社員主体による、アウトレット(学用品)の収集と発展途上国への寄贈
		ペーパーレス化推進	基準書を作成し、社内におけるペーパーレス化を推進

6つの柱を軸に具体的なSDGs活動に取り組んでいます

1. モノづくりの発展に貢献

ケイテックSDGs活動の本命ゴールは「環境性能の良い車づくりに貢献すること」としています。このゴールは社員にとっては仕事のやりがい、取引先にとっては高い技術力の受領、社会にとっては持続可能な社会の実現であり、「三方良し」の精神に貫かれています。

上記ゴールを達成するためには社員一人ひとりの技術的キャリアアップが必要であり、社員の働きやすさを追求しながら、研修等人材育成にも力を入れています。

技術レベル向上のための具体的活動

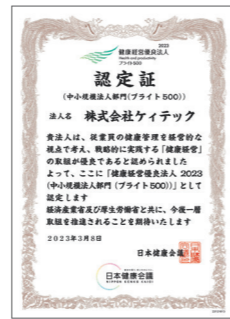
- [1] 入社後の研修…(機械系)2次元CAD、3次元CADの使い方から3角法・製図法を学び、かつ新聞朗読等人間力研修など密度の高い研修を行う。(システム系)外部講師を招いての研修(オンライン)を行う。
- [2] 技術基礎教育の実施…手作りの試験機を使い職場ごとに実験を行い、その理論を学習する。
- [3] スキルアップ研修…(機械系)設計技術向上のため見本図を参照してアイデアを出し、CADによる応用設計を行う社内研修(かずお道場)。(システム系)テキストを基にプログラミング言語を学習する。
- [4] 資格試験受験の推奨…公的資格試験取得のため、年間を通じて社内通信制度などにより伴走型学習支援。
- [5] 外部研修機関の活用…提示された約200項目の中より自分が興味があるテーマを選択し、社外研修を受講する。
- [6] 「かずお基金」の活用…幅の広い人格形成と自己啓発を応援するため、外部制度を利用する場合は費用の一部を支援。



資格試験の合格証



研修風景



ブライツ500認定証

(日本健康会議より、健康経営優良法人に対し、特に優れた健康活動を行っている企業に授与)

2. 「みんな元気2023活動」で健康経営を推進

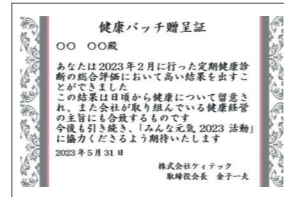


「健康経営」とは会社として健康を課題とし、すべての社員が生涯健康で元気に過ごせるための取り組みです。社員には健康意識調査(アンケート)を実施し、それにより具体的健康実施10項目(1日3食の摂取、睡眠時間、ウォーキング、有給休暇取得の推奨、健康セミナー視聴、BMI、禁煙推奨、3分間体操)を設定し、積極的に実施します。社員の活動程度をポイント制にし、半年ごとに達成状況を自己申告し、その程度に応じてQUOカードを進呈する。

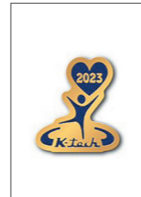
この活動の目標は

- ① 実施項目の合計50ポイント中40ポイント以上を目指す。
- ② 2024年2月に実施する健康診断において、有所見者は75%以下を目指し、達成した場合は全員にポイントを加算する。
- ③ 定期健康診断の結果Aランクおよび、前年よりランクアップした者に贈呈証と健康パッチを進呈している。

QUOカード	4,000円以上	取得平均額
2021年3月	14人/63人	2,980円
2022年9月	19人/71人	3,200円
2023年3月	16人/84人	2,800円



贈呈証



健康パッチ

その他の主な活動

料理教室の実施

料理に興味ある社員に呼掛け、料理教室を実施。本年は3回実施し、毎回3~4点の料理に挑戦。毎回盛り上がった。



料理教室

体力測定競技会を開催

体育館において専門家の指導により、運動を兼ねた体力測定を行った。日頃の運動不足を痛感した一日であった。



体力測定競技会

禁煙活動

毎月22日を禁煙デーとし、喫煙の自粛を呼びかけた。禁煙メッセージを送り、かつ嫌煙給など禁煙グッズを支給している。



禁煙活動

6つの柱を軸に具体的なSDGs活動に取り組んでいます

3. カーボンニュートラルに向けたCO₂排出削減活動

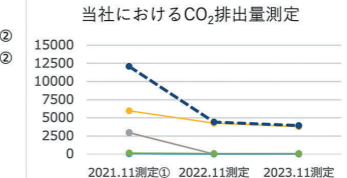
地球の温暖化対策は「待ったなし」の状況になっています。この状況を放っておくと、地球の気象変動がさらに深刻になり、海面の上昇や食糧の確保も難しくなり、人類の生存も危ぶまれます。

温暖化の原因になっているCO₂排出を抑え、カーボンニュートラルに向けての活動は、当社においても早急に取り組まなければならない緊急な課題であるといえます。



当社におけるCO₂排出量 (Kg)

測定項目	2021.11測定①	2022.11測定	2023.11測定
照明	2981	0(3141)	0(2831)②
エアコン	2944	0(2984)	0(2110)②
ガソリン	5965	4263	3770
水道	49	47	53
コピー用紙	150	90	90
合計	12089	4400	3913
世帯当りの倍数③	4.4倍	1.6倍	1.4倍



①SDGs活動前の測定結果
②照明、エアコンの“0”は再生可能エネルギー発電に切り替えたためであり、()内は切り替えていないと仮定した場合の測定値である
③世帯当りの年間CO₂排出量の平均2740Kg(環境省発表2021年分)

毎年11月に省エネ診断を行い、CO₂発生の測定をしています。

活動後の電力が“0”になっているのは2022年1月より再生可能エネルギーによる発電(グリーン電力)に切り替えたためです。活動後ではガソリンのCO₂発生量の割合が高く(全体の96%)になっているが暫時、環境にやさしい車両に切り替えなど対策を強化していきます。

4. 地域社会への貢献

名古屋市緑区の発展に貢献するため、「緑区ルネッサンスフォーラム」(通称MRF)に加入し、緑区役所の地域力推進室と連携して、有松・大高・桶狭間・鳴海地区を中心に観光振興を図っています。同会は毎年10月に行う緑区区民まつり、各種散策会、年4回の機関誌「緑歴史ひろば」の発行、お月見コンサート会、復元高札場の維持管理等、その活動は多岐にわたっています。

また、鳴海地区の活性化を図るために「鳴海歴史倶楽部」にも加入し、勉強会に参加するとともに旧東海道鳴海宿周辺の名所旧跡の紹介に取り組んでいます。同倶楽部では最近、鳴海地区を盛り上げるために下記のような活動がされています。SDGs11番目の目標(住み続けられるまちづくり)にも合致した活動であり、当社も可能な範囲で協力していきたいと思っています。



緑区ルネッサンスフォーラム会報



お月見コンサート会

① 子ども図書館について

子どもの居場所作りを兼ねた子ども図書館の開設を計画。子どもは国の宝ですから、この活動を通して住みやすい町づくりに貢献していきたいと思っています。

② 観光案内所の開設

鳴海を訪れる観光客のために、観光案内所を開設予定です。鳴海の観光情報の前線の間として、有効な活動です。

③ 飲食店を誘致

旧東海道沿いに飲食店の出店を進める活動です。飲食店が少ないという声もあり、地域発展には必要とされる活動です。

④ 鳴海城跡にお城建設

桶狭間の戦いの舞台となった鳴海城跡にお城を建設したいという取り組みです。この活動は名古屋市の官民連携事業として申請し、企画されています。鳴海の主たる観光スポットとして育つことを願っています。



ふれあい旅行(岡崎)



鳴海城 完成イメージ